バラエティ豊かなラインナップ
チョコエッグ
本物のおいしさ
セコイヤチョコレート
フルタ製菓株式会社
〒544-0023　大阪市生野区林寺6-7-22

菓子・食品・パン関連資材専門紙　流通記者会加盟紙

菓業食品新聞

The Journal of confectionery

URL：http://okashi.info　e-mail：okashi@nespe.com

令和3年　4月12日（月曜日）
（毎月12、22日発行）第2250号
昭和41年7月2日第3種郵便物認可

発行所　〒553-0003 大阪市福島区福島 1-2-12-605
TEL 06(6458)2045 FAX06(6458)6520
株式会社菓業食品新聞社
支社・京都
発行人　狩野　智子　　一カ年　8,400円

2020年15歳未満の子ども人口

1512万人、20万人減

子どもの割合、46年連続で低下

子どもの数、39年減少続く

15歳未満、総人口の12・0％

2020年4月1日現在における子どもの数（人口性比）は100人に対する男子の数（総務省発表、15歳未満人口、以下同）は、前年に比べ20万人少ない1512万人で、1982年から39年連続の減少となり、過去最少となった。

男女別では、男子が774万人、女子が738万人となっており男子が女子より36万人多く、女2・4％）、3～5歳2・2％）となっている。

これを中学生（12～14歳）、小学生（6～11歳）、未就学の乳幼児（0～5歳）の3つの区分でみると、321万人（同割合2・6％）、622万人（同4・9％）、569万人（同4・5％）で、0～2歳275万人（同2・2％）となっている。

男女別子どもの数

		2020年4月1日現在	2019年4月1日現在	対前年増減数
こどもの数（万人）	男女計	1512	1532	−20
	男	774	785	−10
	女	738	747	−10
	人口性比	105.0	105.0	0.0
総人口（万人）	男女計	12596	12625	−30
	男	6131	6144	−13
	女	6465	6481	−17
	人口性比	94.8	94.8	0.0
総人口に占めるこどもの割合（%）		12.0	12.1	−0.1

男女、年齢3歳階級別こどもの数　（2020年4月1日現在）

		こどもの数	未就学の乳幼児（0～5歳）			小学生（6～11歳）			中学生（12～14歳）
				0～2歳	3～5歳		6～8歳	9～11歳	
人口（万人）	男女計	1512	569	275	293	622	304	318	321
	男	774	291	141	150	318	156	163	165
	女	738	277	134	143	303	149	155	157
総人口に占める割合（%）		12.0	4.5	2.2	2.3	4.9	2.4	2.5	2.6

6～8歳304万人（同2・5％）、3～5歳293万人（同2・3％）、0～2歳275万人（同2・2％）となっている。

これを中学生（12～14歳）、小学生（6～11歳）、未就学の乳幼児（0～5歳）の3つの区分でみると、321万人（同割合2・6％）、622万人（同4・9％）、569万人（同4・5％）で、0～2歳275万人（同2・2％）となっている。

1970年代前半には第2次ベビーブーム期（1971～1974年）の出生児数の増加でわずかに上昇したものの、1975年から再び低下し、1997年に65歳以上人口の割合（15・7％）を下回って15・3％となり、2020年は12・0％（前年比0・1ポイント低下）で過去最低となった。

子どもの割合は、1975年から46年連続で低下した。

9万人（同4・5％）となっている。

また、総人口に占める子どもの割合は1950年に3分の1を超えていたが、第1次ベビーブーム期（1947～1949年）の後、出生児数の減少を反映して低下を続け、1965年に総人口の約4分の1となった。1970年代前半には第2次ベビーブーム期（1971～1974年）の出生児数の増加でわずかに上昇したものの、1975年から再び低下し、1997年に65歳以上人口の割合（15・7％）を下回って15・3％となり、2020年は12・0％（前年比0・1ポイント低下）で過去最低となった。

子どもの割合は、1975年から46年連続で低下した。

東京都、3千人増
割合日本一は沖縄県

なお、2019年10月の統計によると、同割合が一番高いのは沖縄県（16・9％）だった。次いで滋賀県（13・8％）、諸外国（人口4千万人以上）と比べると、日本が佐賀県（13・5％）となった。最低は秋田県（9・8％）で、東京都、神奈川県、大阪府の3都府県だけが百万人を超えており、東京都だけが、子ども人口が増加（前年比3千人増）している。

また、子どもの割合を最低となっている。

「ベイキング」需要増
製菓製パン材料品薄に

昨春より、新型コロナウイルス感染拡大のため外出自粛を迫られ、自宅での時間を楽しもうと、パンやケーキを焼く「ベイキング」の需要が急増している。一時は小麦粉やホットケーキミックス粉の品薄状態が続き5月初旬、年3月から大流行し、製菓・製パン材料が品薄になった。パンやケーキが焼ける匂いがもたらす幸福感は手作りならではのもので、子どもが作ることで成長を実感することもできる。今後も、ベイキングの需要は高まる傾向が予測される。

4月に販売を制限した。

また、レシピサイトで検索数が最も増えたのがクッキーだった。加えて、パン作りは、発酵させる時間が必要で手間もかかるため手を出しづらいが、巣ごもり生活ではむしろ、うってつけである。米国では「ストレス・ベイキング」と呼ばれ昨

モバックショウ
2万3千人が来場

2021モバックショウ（第27回国際製パン製菓関連産業展）が3月9日（火）から12日（金）まで、大阪市住之江区のインテックス大阪で開催され、コロナ禍のなか4日間で2万3488人（国内2万3464人、海外24人）が来場した。前回は3万6142人（同3万2035人、4197人）だった。

晴天の初日は6938人（同6934人、4人）と7千人近くが来場、その後は5810人、5296人、5444人と5千人台で推移した。

4面　湖池屋 神戸市と連携第二弾
6～8面　ANKA 菓子統計
12面　映画の街に駄菓子店 映菓座